



大型で強い台風19号が、10月12日午後7時前伊豆半島に上陸し、群馬県を暴風圏に巻き込み通過しました。  
渋川市では、前日から災害



▶避難所の様子

警戒本部を設置し、台風に備えて市民への注意喚起のお知らせを行いました。そして、台風上陸前の12日の朝、風雨が強くなる前の朝7時に自主避難所を各公民館に開設しました。

自主避難所の開設は、昨年の7月、台風12号の際に実施したのですが、今までそういう対応をとらなくても支障はなかったと設置に反対されました。

全国の自治体が「最大限」の対策をとつていても、多くの被災者を出してきました。自然災害だから仕方ないでは済まされません。できることはあります。被害の発生を想像し、前例にとらわれず最大の対策をスピーディーに決断することが大切です。

今回の台風19号において、私は市民の生命を守るという信念で一部地域に避難所を開設し、市民に避難勧告を決断しました。多くの市民の皆様が呼び掛けに応じて冷静に避難していたいただき感謝しています。おかげさまで人命に關わるような大きな被害はありませんでした。

三日後、自治会など市民の皆さんと今回の避難勧告への対応の検証会議を開き、災害への緊張感を新たにしました。